

日本入国の水際対策

ワクチン接種が義務付けられたフランス、接種率は8月15日で人口の66,8%に達した。夏休み真っ最中、海や山のバカンス先でも予約なしでワクチン接種が可能、一回目と二回目の接種地が異なっても良くなった。ワクチン接種が進む反面、予想通り、「衛生パス」義務化反対デモが活発化している。毎週土曜日の恒例となっ

た「黄色いベスト運動」デモと重なり、ワクチン接種義務は個人の自由を侵害する拘束との理由で反対の声が上がっている。異変ウイルス・デルタ株の感染力が強く、フランスでも一日の新規感染者数が急激に増加し、外出時マスク着用義務が再び適用されている地方が多い。そして8月9日



からいよいよ「衛生パス」実施が始まった。ワクチン接種証明または72時間以内のPCR検査陰性証明がなければ、飛行機や列車のみならず、カフェ、レストラン、スポーツジム、ショッピング・センターなど日常生活の場所に行けなくなった。ワクチン接種を拒否する人はPCR検査を受け続けるか、社会生活を断念するかの窮地に陥っている。フランスも日本も予測できないコロナ禍の推移に振り回され、フランスから日本への帰省も大変なことになった。入国時の水際対策は頻繁に予告なしで変更される。8月の日本帰国を決めた時からパリ日本大使館領事部に連絡し、日本厚生労働省

ホームページを頻繁に見て、最新の情報に沿って帰国準備をしなければならない。最新情報でなければ日本入国が拒否される事態にもなりかねない。

私の実家は九州で、国内線や新幹線は利用できない。パリから24時間で実家まで移動できていたコロナ禍以前から一変して、一週間を要する帰省となった。出発前の準備として「帰国便搭乗時刻の72時間前のPCR検査陰性証明」を取らねばならない。検査できるラボや病院は多いが、採取時間、結果判明時間、検査の方法、検査機関の住所、医師サインなどを記載する日本厚生労働省指



定証明書でなければならない。PCR検査採取日と陰性結果を元に日本用証明書に書き換える日と二日を要する。

次に日本厚生労働省が指定する「新型コロナウイルス感染症対策 質問票回答受付」のCRコードをダウンロードする。

また、「誓約書(個人)」の最終版(2021年7月15日更新)をダウンロード・プリントアウトし、日本での自己隔離待機場所、空港から待機場所までの交通手段などの事項に回答し、サインをして誓約書を準備する。

次に「入国者健康居所確認アプリ(MySOS)」をダウンロードする(日本到着後、検疫所でもダウンロードできる)。アプリをダウンロードできるスマートフォンがない人は自己負担でレンタルを強制される。スマートフォンで本人の位置情報を確認するのである。

さらにもう一つ「接触確認アプリ(COCOA)」のダウンロードも必要だ。

以上の準備を済ませてパリ・アムステルダム・大阪の乗り継ぎ便で帰国したのが8月12日午前8:50だった。

パリ・アムステルダム便は満席だった。ヨーロッパ内はワクチン接種パスだけで飛行機に乗れる。アムステルダムから大阪行きの乗客は少なかった。日本入国条件を思えば当然だろう。関西国際空港に着陸してからの水際対策が長かった。唾液を採取するPCR検査を受け、結果が出る待ち時間に必要証明のチェック、アプリ・インストールのチェックなどが行われ、無罪放免で到着ゲートを出たのは午後だった。

大阪から九州まで豪雨の中を家族の自家用車で移動した。実家に到着したのは翌日で、メールを開いたら以下のお知らせが届いていた。

在留邦人の皆様

フランスに滞在中の皆様

8月14日0時以降にフランスから日本に入国する場合、検疫所長が指定する場所(検疫所が確保する宿泊施設)での3日間の待機(到着日は含まれません)と3日目の新型コロナウイルス感染検査が求められます。3日目の検査を受けて陰性と判定された場合、検疫所長が指定する場所を退所し、入国後14日目までの間自宅等で待機が求められます。出発72時間以内の陰性証明書の取得など、これまで求められていた日本入国時の防疫措置は、引き続き求められますので、以下のウェブページにてご確認ください。厚生労働省『検疫所が確保する宿泊施設での待機・誓約書の提出について』(8月11日改訂) https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000121431_00249.html

外務省『水際対策強化措置に係る国・地域の指定について(8月11日付)』 <https://www.mofa.go.jp/mofaj/files/100221453.pdf>

到着が48時間遅れていたなら「空港近くの場所で4日間留置」だったと知り、幸運に感謝した。7月14日に逆戻りした措置で、日本での感染者数が増えたせいだろうか。理由はいつもよく分からない。はっきりしているのは、これから14日間は実家から一步も外へ出られないこと。毎日

「MySOS」アプリから「現在地報告(位置確認)」ボタンを押す旨のメッセージが2-3回は送られてくる。顔認証の本人確認ビデオ録画も無作為に毎日実施される。「健康状態報告」も毎日行わなければならない。アプリに管理される14日間だ。

納得できないことも多々あるが、高齢の父が帰省を喜んでいるのが救いである。

